

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

FILE

no English translation
available

(11) Publication number : 01-232097
 (43) Date of publication of application : 18.09.1989

(51) Int.CI.

B42D 15/02
G11B 5/80

(21) Application number : 63-058238
 (22) Date of filing : 14.03.1988

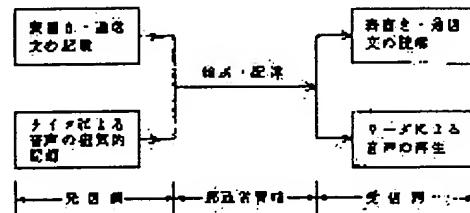
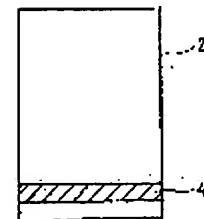
(71) Applicant : TOSHIBA ENG CO LTD
 (72) Inventor : YAEGASHI SETSUO

(54) POSTCARD WITH VOICE RECORDING MEDIUM

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide a system which can appeal to the eye or the ear and ensures easy protection of privacy, by providing a voice recording medium part for magnetically recording voice at a predetermined part of the face side or back side to produce a postcard with a voice recording medium.

CONSTITUTION: A postcard 2 is provided with a voice recording medium part 4 for magnetically recording voice at a uniformly predetermined part thereof, for example, a lower part of the back side thereof. The voice recording medium part 4 can be provided by, for example, applying a magnetic coating. The postcard 2 is inserted into a reader/writer before, or after writing the superscription (e.g., an address) and a communication on the sender's side, and a voice message to be sent is recorded into the recording medium part 4 by operating a writer part of the reader/writer. The postcard 2 is mailed according to a mail system, in the same manner as a conventional postcard.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

THIS PAGE BLANK (USPTO)

FILE

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A) 平1-232097

⑬ Int.Cl.

B 42 D 15/02
G 11 B 5/80

識別記号

331

府内整理番号

B-8302-2C
7350-5D

⑭ 公開 平成1年(1989)9月18日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 音声記録媒体付葉書

⑯ 特願 昭63-58238

⑰ 出願 昭63(1988)3月14日

⑱ 発明者 八重樫 節雄 東京都港区西新橋1丁目18番17号 東芝エンジニアリング
株式会社内⑲ 出願人 東芝エンジニアリング 神奈川県川崎市幸区堀川町66番2
株式会社

⑳ 代理人 弁理士 石川 泰男 外2名

明細書

1. 発明の名称

音声記録媒体付葉書

2. 特許請求の範囲

表面または裏面の一定箇所に音声を磁気的に記録する音声記録媒体部を設けたことを特徴とする音声記録媒体付葉書。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は音声記録媒体付葉書に関する。

(従来の技術)

葉書は郵便システムに乗って安価で安全・確実に、しかも配達場所・遅延を問わずに手帳に利用できる簡単な情報伝達手段である。しかし従来の葉書は文字または符号、絵などの伝達すべき情報を手書きや印刷などによって記録するものであって、これらの情報は視覚に訴える形で記録される。

(発明が解決しようとする課題)

人間どうしが直接対面して会話をを行う場合に典型的に見られるように、人間相互間の情報伝達は発生器官および感觉器官を用いて行う音声系統と、视觉器官を用いて行う画像系統の両方を介して行うのが普通であり、その両系統を用いることにより円滑な情報伝達が可能になる。

しかるに、従来の葉書は専ら視覚に訴える形式のものであって、情報伝達手段として物足りないばかりでなく、容易に他人の目に触れることからプライバシーに漏わることには利用しにくいとか、いわゆる無礼筋の人には利用しにくいなどの問題点もある。

したがって、本発明の課題は、上記問題点を解消し、簡易な情報伝達手段として、より完全な、プライバシーを守り易い、革新的の人にも利用し易い葉書を提供することにある。

(課題を解決するための手段)

上記課題を解決するために、本発明は、表面または裏面の一定箇所に音声を磁気的に記録する音

THIS PAGE BLANK (USPTO)

特開平1-232097 (2)

音記録媒体部を設けた点に特徴を有する。

〔作用〕

業者の一箇所に音記録媒体部を設けることにより、視覚に訴える形で記録する従来の情報伝達手段としてのみならず、聴覚に訴える形で記録する目には見えない情報の伝達手段としても併用することができ、業者の簡易な情報伝達手段としての機能を倍増させることができる。

〔実施例〕

第1図は本発明による音記録媒体付業者2の裏面を示すものである。この業者2には予め統一的に定められた一定箇所、例えば裏面の下方部分に、音声を磁気的に記録するための音記録媒体部4が設けられている。この音記録媒体部4は例えば磁気コーティングを施すことによって形成してもよいし、既製の磁気テープを貼付けるようにしてもよい。

このような業者2は、第2図に示すように、兎信側で兎名などの表書きや通話文の記載前または記載後リーダ／ライタ(図示せず)に挿入され、

ここでライタ部の作用により記録したいメッセージの吹込み、すなわち音声の記録が音記録媒体部4に対して行われる。この業者2は、従来の業者と同様に郵政省管轄の郵便システムに従って輸送され、輸送され、受信人に配達される。このような業者2を受取った受信人は、視覚に訴える形で記録された通話文を読解すると共に、業者2をリーダ／ライタに挿入することにより音記録媒体部4に記録されたメッセージがリーダ部で再生され、スピーカから再生される音声として聞くことができる。

上述のリーダ／ライタは風扇錄音再生ヘッドを備えた業者専用のものを用意してもよいし、コスト低減のためにはマイクロフォンおよびスピーカを内蔵した電話機との複合化の形で実現することも考えられる。

業者は官製であろうと私製であろうと、いずれに対しても本発明は適用可能である。

音記録媒体部4を設ける場所は、図示(第1図)のものに限定されることはなく、リーダ／ラ

イタとの間連で統一されていれば、他の場所でもよい。

なお、本発明の業者は、音記録媒体部4を利用することなく、従来と全く同様の業者としても使用することができる。

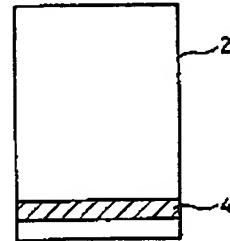
〔発明の効果〕

本発明によれば、従来の郵便システムに大きな変更を加えたりすることなく、簡易な情報伝達手段として、視覚および聴覚の両面に訴えることの可能な、よりプライバシーを守り易い、筆無精の人にも利用し易い業者ないし業者システムを提供することができる。

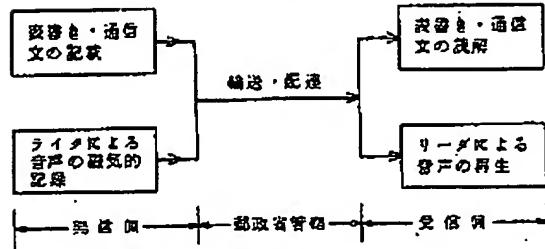
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例による業者の裏面図。第2図は本発明による業者の兎信側の記録から兎信側の読解および再生に至る流れを示す流れ図である。

2…業者、4…音記録媒体部。



第1図



第2図

THIS PAGE BLANK (USPTO)